

サクサクわかる

四柱推命の本

中国古典を踏まえた四柱推命の本流

小山内彰著

shihei.com

©2013 Akira Osanai
shihei.com

本書の全部または一部を無断で複写複製
(コピー) することは、著作権法上の
例外を除き、禁じられています。

サクサクわかる

四柱推命の本

中国古典を踏まえた四柱推命の本流

小山内彰 著

序文

本書の表題に「サクサクわかる四柱推命の本」と安直にも響く言葉を使用した理由は、本書を半分くらい読まれたなら、少しでもいいからあるのですが、四柱推命の視点から、具体的なことがわかるようになることが可能であるからです。

既存の四柱推命では、2年、3年、時に10年と学び続けても、結局、何もわからないで終わってしまうことが多くあり、費やした時間や費用が無駄になっていました。自身においても、四柱推命で具体的なことがほんの少しだけ判断できるようになったと感じたのは、学び始めて10年ほど時間が経ってからであったと記憶しています。

さて、現在、日本における四柱推命には2つの流れがあります。1つは、千年くらい前から中国の高級官僚や大臣クラスの当時の知識人が残した四柱推命の書の流れに属するものです、もう1つは、中国で20世紀初頭に清朝が崩壊した後、中国は動乱の時代に突入しましたが、その前後から四柱推命が民間に降りたことにより、怪しげな占いの体

裁を身にまとったものです。日本の推命のほとんどは後者に属しますが、現在も一部では前者の古来よりの推命の流れをkarouじて守っているものも存在します。ただし、前者のほうが圧倒的に少数派で、日本では1割にも満たないのではないかと思います。

本書の内容は、清朝以前の中国の知識人や先賢が積み上げてきた四柱推命の本流の中にありますが、先賢の業績をただそのまま受け継ぐだけではなく、さらに発展させることはできないかという立場を取っています。

四柱推命は「運命学の帝王」と言われるのですが、同時に難解であるとも言われています。それは既存の四柱推命を役に立つレベルまで身につけることが困難だったからです。しかし本書が出刊されたことにより、今後は、四柱推命はそれほど難しくはない、と語られるようになることを願っています。

なお誕生日から、四柱推命に必須の四柱八字や大運を出す作業は煩雑で面倒な作業ですが、本書に対応したアプリケーションを無償で提供しています。

著者記す

平成25（癸巳）年9月

目次

序文	2
第一章 四柱推命という方法について	14
中国の文献から紐解く四柱推命の起源と歴史	16
四柱推命は占いなのか	20
第二章 基礎知識となる陰陽五行論について	32
陰陽五行論のはじまり	33
陰陽の概念と自然弁証法について	35
推命の基礎概念の唯物論と弁証法について	40
五行という概念について	46

五行の相互作用とは……………	52
五行の「相生」という作用について……………	53
五行の「相剋」という作用について……………	55
「相剋」の作用に対する誤解について……………	57
五行の相互作用のまとめ……………	58
十干とは……………	61
十干の相互作用について……………	63
十二支と蔵干について……………	67
六十干支の成立……………	71
第三章 干支による暦の成り立ちについて……………	75
四柱推命で使用する暦について……………	76
二十四節気とは……………	77
年の干支の巡り……………	82

月の干支の巡り……………	87
日と時の干支の巡り……………	88
干支暦のまとめ……………	90
四季により変遷する五行の旺とは……………	93
旺相死囚休の変遷……………	98
十二支の蔵干について……………	103
雑論……………	117
「沖」不用の理……………	118
「方」不用の理……………	120
「三合・局」不用の理……………	121
「干合・支合」不用の理……………	123
調候という概念の問題点……………	128
その他、天徳貴人、空亡などの無用な用語について……………	130

第四章 四柱八字・大運・通変について

出生時間の補正	136
出生地の時差の求め方	140
均時差による時差の求め方	144
サマータイムによる補正	147
四柱八字の出し方	149
四柱八字の出し方の実際	161
大運の出し方と流年について	164
大運という画期的な概念について	165
大運干支の出し方	167
流年とは	179
四柱八字と大運・流年の関係	181
通変という概念について	185
四柱八字の構造（上下・左右という視点）	190

比劫の隣接による変則的な見方……………194

四柱推命という方法の変遷……………201

第五章 「旺の逆転」という独自の方法について……………212

「旺の逆転」という発想の原点……………213

月干の印の有効性の見方……………219

日干と旺の関係の見方……………223

「旺の逆転」の適用条件……………226

「旺の逆転」の適用例……………229

第六章 五行と通変の事象……………237

五行と通変の事象の適用範囲について……………239

五行の事象について……………240

木の事象について……………241

火の事象について……………	244
土の事象について……………	245
金の事象について……………	249
水の事象について……………	252
五常の視点からその人の気質を見る方法……………	254
木の五常「仁」の意味・作用について……………	256
火の五常「礼」の意味・作用について……………	258
土の五常「信」の意味・作用について……………	262
金の五常「義」の意味・作用について……………	264
水の五常「智」の意味・作用について……………	268
五常による気質の見方の実際……………	270
五行と血液型との関係、そして姓名判断について……………	277
通変の事象について……………	284
比劫の基本的事象について……………	288

第七章

食傷の基本的事象について……………	291
財の基本的事象について……………	294
官殺の基本的事象について……………	306
印の基本的事象について……………	313
日干に隣接する通変から行動原理を知る方法……………	321
定位という視点……………	338
「五行の調和」とその事象の発現……………	345
「五行の調和」の基本〜日干の強弱の見方……………	346
隣接する干が日干に与える影響を評価する視点……………	350
隣接する干の相互作用の見方……………	358
日干の強弱の見方の実際……………	363
日干が強い四柱八字の具体例……………	363
日干が弱い四柱八字の具体例……………	368

第八章

「五行の調和」による事象の見方…………… 373

「五行の調和」と吉凶の関係…………… 376

生家の環境の見方…………… 381

父母との関係の見方…………… 381

兄弟姉妹との関係の見方…………… 384

現代医学の病名と「五行の非調和」との関連…………… 387

「五行の非調和」による発病部位の関連性…………… 388

「五行の非調和」による疾患の実例…………… 391

長寿の命と夭折の命…………… 392

ガンに罹患した四柱八字の実例…………… 397

その他の疾患と「五行の非調和」との関連…………… 399

「通変の調和」の発見…………… 406

「通変の調和」という考えに至った過程…………… 407

「通変の調和」の定義……………	410
「通変の調和」の基本的な見方……………	415
「通変の調和」の変則的な見方……………	417
「通変の調和」と「五行の調和」の関連……………	421
「通変の調和」と喜忌・吉凶の関係……………	430
第九章 実践的な事象の見方とその実例……………	438
具体的な事象の見方……………	439
性格・性情の見方……………	439
真面目・不真面目……………	441
やさしさ・慈悲深さ……………	443
経営者にとって望ましい社員の性格……………	445
適性進路・適職の見方……………	446
相性・婚期・結婚の見方……………	453

著名人の実例から推命の深淵を垣間見る……………

458

徐樂吾／ジョージ・アレクサンダー・ルイ／岩崎恭子／荒川静香／イチロー／藤圭子
／ステイブン・ポール・ジヨブズ／ジョン・レノン／ポール・マッカートニー

第十章 四柱推命学の可能性と限界……………

509

グローバルな形での四柱推命の活用……………

510

命運を見る際の心得……………

517

あとがき……………

521

付録 干支暦・太陽暦対照表

1926年〈昭和元年〉～2037年〈平成49年〉

522